

## 2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 日本ファルコム  
 コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 季洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中野 貴司

TEL 042-527-0555

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	707	32.4	344	50.8	346	50.6	242	50.5
2019年9月期第2四半期	1,047	45.8	699	86.4	701	86.2	489	80.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	23.59	
2019年9月期第2四半期	47.64	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第2四半期	6,334	6,187	97.7	601.95
2019年9月期	6,592	6,068	92.1	590.36

(参考)自己資本 2020年9月期第2四半期 6,187百万円 2019年9月期 6,068百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		12.00	12.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年9月期の期末配当金の内訳 普通配当6円00銭、記念配当6円00銭

### 3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	14.4	1,000	32.0	1,000	32.1	680	32.4	66.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	10,280,000 株	2019年9月期	10,280,000 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	249 株	2019年9月期	249 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	10,279,751 株	2019年9月期2Q	10,279,814 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第2四半期累計期間の製品部門におきましては、累計販売台数が1億600万台を突破した据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに、「イース セルセタの樹海：改」（2019年5月発売）や「イースVIII-Lacrimosa of DANA-（ラクリモサ・オブ・ダーナ）スーパープライス」（2019年6月発売）のほか、「イース」シリーズ最新作「イースIX-Monstrum NOX-（モンスターム・ノクス）」（2019年9月発売）を販売しております。

また、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けゲームソフト「英雄伝説 零の軌跡：改」を2020年4月に発売し、同じくPlayStation4向けゲームソフト「英雄伝説 碧の軌跡：改」を2020年5月に発売いたします。

なお、累計販売本数450万本を突破している「軌跡」シリーズ最新作「英雄伝説 創（はじまり）の軌跡」につきましましては、2020年8月の発売に向けて鋭意制作中です。

その結果、製品部門の当第2四半期累計期間の売上高は48百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

ライセンス部門におきましては、2019年10月に携帯型ゲーム機PlayStationVita向けゲームソフト「英雄伝説 零の軌跡 Evolution」「英雄伝説 碧の軌跡 Evolution」の繁体字中国語版及び韓国語版を、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに「英雄伝説 閃の軌跡III」の英仏語版を発売しました。2020年2月には、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けゲームソフト「イースIX -Monstrum NOX-（モンスターム・ノクス）」繁体字中国語版及び韓国語版を、2020年3月には「英雄伝説 閃の軌跡III」をNintendo Switch及びPC向けに発売しました。

その他、旧タイトルのPCゲーム英語版ダウンロード販売やオンラインストーリーRPG「英雄伝説 暁の軌跡」、Nintendo Switch向け「イースVIII-Lacrimosa of DANA-（ラクリモサ・オブ・ダーナ）」、据え置き型ゲーム機PlayStation4及びPC向けゲームソフト「東京ザナドゥeX+（エクスプラス）」英語版や「イース オリジン」日本語を含む多言語版、中国で展開しているスマートフォン向けアプリ「空の軌跡」のほか、「ラングリッサーモバイル」などのゲームタイトルとのコラボレーション展開を進め、ユーザー層の拡大を図りました。

なお、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに「イース セルセタの樹海：改」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年4月に、「英雄伝説 零の軌跡：改」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年5月に、「イース セルセタの樹海：改」英語版と「英雄伝説 碧の軌跡：改」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年6月にそれぞれ発売いたします。また、Nintendo Switch向けには「イースVIII-Lacrimosa of DANA-」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年5月に、「英雄伝説 閃の軌跡III」英仏語版を2020年6月に発売する予定です。

その結果、ライセンス部門の当第2四半期累計期間の売上高は659百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は707百万円（前年同期比32.4%減）、営業利益は344百万円（前年同期比50.8%減）、経常利益は346百万円（前年同期比50.6%減）、四半期純利益は242百万円（前年同期比50.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が335百万円増加したことに対し、売掛金が573百万円減少したことにより6,334百万円(前事業年度末比3.9%減)となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が106百万円減少したこと、未払法人税等が146百万円減少したことにより146百万円(前事業年度末比72.0%減)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い123百万円があったことに対し、四半期純利益を242百万円計上したことにより6,187百万円(前事業年度末比2.0%増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の通期業績予想につきましては、本日公表の「2020年9月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」のとおり、当第2四半期累計期間の業績は堅調に推移しており、現時点において新型コロナウイルス感染症の影響はないものの、不確定な要素も多分にあることから、2019年11月7日に公表しました業績予想に変更はありません。

引き続き感染症の影響を注視しつつ、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,586,537	5,921,551
売掛金	728,053	154,514
製品	2,926	846
原材料	1,083	941
その他	16,378	10,908
流動資産合計	6,334,979	6,088,762
固定資産		
有形固定資産	3,440	5,855
無形固定資産	927	839
投資その他の資産	253,230	239,021
固定資産合計	257,598	245,716
資産合計	6,592,577	6,334,478
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,828	1,742
未払法人税等	218,569	72,465
賞与引当金	30,000	13,500
その他	167,431	58,915
流動負債合計	523,829	146,623
負債合計	523,829	146,623
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	5,585,556	5,704,662
自己株式	△300	△300
株主資本合計	6,068,748	6,187,855
純資産合計	6,068,748	6,187,855
負債純資産合計	6,592,577	6,334,478

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,047,459	707,817
売上原価	35,610	17,462
売上総利益	1,011,848	690,354
販売費及び一般管理費	312,250	346,070
営業利益	699,598	344,284
営業外収益		
受取利息	24	29
受取配当金	1,160	1,452
未払配当金除斥益	655	618
営業外収益合計	1,840	2,099
営業外費用		
為替差損	265	251
営業外費用合計	265	251
経常利益	701,173	346,132
税引前四半期純利益	701,173	346,132
法人税、住民税及び事業税	215,625	68,961
法人税等調整額	△4,152	34,707
法人税等合計	211,473	103,668
四半期純利益	489,700	242,463

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	701,173	346,132
減価償却費	1,025	1,254
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,750	△16,500
受取利息及び受取配当金	△1,185	△1,481
売上債権の増減額 (△は増加)	855,404	573,812
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,578	2,221
その他の資産の増減額 (△は増加)	501	5,635
仕入債務の増減額 (△は減少)	△223,420	△106,086
未払金の増減額 (△は減少)	△59,954	△45,879
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,505	△53,114
その他の負債の増減額 (△は減少)	△11,217	△15,651
小計	1,212,650	690,343
利息及び配当金の受取額	1,185	1,481
法人税等の支払額	△393,142	△209,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	820,693	482,038
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,016	△3,580
敷金及び保証金の差入による支出	-	△20,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,016	△24,245
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△79	-
配当金の支払額	△101,601	△122,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,680	△122,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	717,996	335,013
現金及び現金同等物の期首残高	4,558,444	5,586,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,276,440	5,921,551



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。